

藤の花の香りを求めて

日時:2021年5月1日(土) 天候:晴れ一時雨のち晴れのち雷雨(ややこしい) 17000歩 約11km

集合:JR田浦駅 9時45分 10時出発

コース:田浦駅→のの字橋→十三峠→塚山公園→木古庭公園→横須賀しょうぶ園→JR衣笠駅

参加者:熊坂(L) 平嶋(SL) 松野(SL)

勅使河原 吉越 平石 高橋文 青松 小林 宮野 伊藤美 小島 中林 吉岡 内海 福田 山口 灘波 土志田
鈴木宏 荒井 宿澤 高橋吉 加納 松原 川合 計26名

“春は花 夏ほととぎす秋は月 冬雪さえて涼しかりけり” 道元禅師が永平寺の夜空を眺めて詠われたものですが、この言葉自体が禅の心を説いていると言われています。コロナ禍の今、せめて心にはその様なゆとりを持ちたいものです。

田浦駅は以前には北口からスタートしたのですが、今回は南口(こちらが本来の出入り口か)をスタートし、ループ状の「のの字橋」下の公園でストレッチ、いつの間にか通過していた十三峠から塚山公園で昼食となりました。朝は青空が広がっていたものの、上空の寒気の影響で、横須賀しょうぶ園へ向かう途中で急な通り雨となり、慌てて傘を広げる場面も。園内を見学中にはまた青空が広がり、雨に濡れた白藤が輝いて見えるほど。しょうぶ園を出て衣笠駅までの間には、一天俄かに黒雲が覆い雷雨となってしまうりましたが、猫の目のように目まぐるしく変わる空模様に一喜一憂したこの日のウオークでした。

藤の花は、残念ながら紫が殆ど終わりかけていましたが、白藤が代役を果たしてくれたお蔭で楽しむことができました。

<フォトレポート 小島>



<横須賀しょうぶ園で雨上がりを狙って全員集合。紫の藤棚は終わっていたので白藤の前で撮りました>

横須賀しょうぶ園: 神奈川県横須賀市阿部倉にある市立の公園。指定管理者の横須賀緑化造園協同組合が管理・運営をしている。

面積約 3.8ha。毎年 5 月から 6 月にかけて、約 7,000m² の広大な菖蒲田に約 14 万株のハナショウブが咲く。



田浦駅改札前。歩く前に座って体力温存(?)の3人。



久しぶりの人もいて駅前広場で暫し談笑タイム。



熊坂Lからコース説明と新会員さんの紹介があった。



感染予防から4班に分けて出発する。まずは1班から。



2班



3班



4班



国道16号を渡り、後続部隊を待つことに。



ここから上り坂に入る。日差しが強くなってきた。



前面に立ちはだかる丘陵地へ。



立派過ぎる人道トンネル・・・動物も？



この辺りは住宅地になっている。



「のの字橋」下でストレッチ。キャッチボール中の親子を熊坂Lが一喝！？（NO、事情を説明し場所をお借りした）



ループ状になった珍しい橋で、上から見るとのの字になっている。有名な伊豆河津ループ橋のミニ版のよう。



ストレッチを終え「のの字橋」を上がる。結構な坂道。



上り切るとこんな景色が。如何にも横須賀らしい光景。



ダラダラとした上り坂が続く。急坂の方がまし？



お馴染みの無人販売所。目玉商品はなし！



ここで休憩タイム。碑が有り開拓記念碑とあった。こんな丘陵地を何の目的で開拓したのか・・・トラやシカもいた？



遥かに見えるのは猿島。高層ビルはマンション？



景色を見ながら爽やかな風に吹かれ足取りも軽くなった。



おや、ここにも“関所”が・・・



5月の新緑の中を行く御一行。



富士見台へ上ってみることに。



富士山は残念ながら見えず。海の方角を眺めただけ。



上ったら下りが待っている、これKWCの大原則！

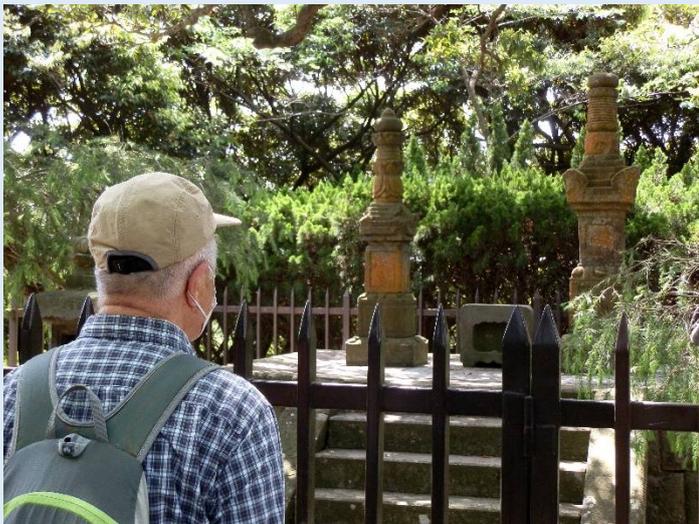
●横須賀市の特徴：三浦半島の大部分を占め、東側は東京湾、西側は相模湾に面する。それほど標高が高い山はないが、中央部は山間部や急峻な丘陵部が中心で平地は少ない。そのため、古くから海岸線の埋め立てが行われており、現在の中心市街地も大部分が埋立地。海岸沿いまで山が迫る地形のためトンネルが多いのも特徴で、神奈川県にある道路・鉄道トンネルのおよそ半数が市内に集中している。(市の資料より抜粋)



ここはもう塚山公園内。涼しい木陰が続く散歩道。



とはいえアップダウンもあるので気が抜けない。



園内にある按針塚。右が按針、左が奥さんの墓。



ここで鈴木宏さんと合流。何故？その理由は極秘事項！



“尺八名人”(?)の演歌ライブを聞きながら…港の見える丘でランチタイム。



特等席の港を見下ろす場所でも。



太陽を一杯に浴びて…(日焼けが心配?)



チョウを狙う人。何者？



港の見える丘から見た海側の風景。この日は霞んでいたが前方には房総半島も見えるはず。



<午後の部スタート前に花壇の花々を前にして全員集合。艶やかな(?)女性陣に花たちも色褪せそう>



「トイレに行きたい人は済ませて」はあ〜い！



改めて按針についての説明版を読んで行く。



ここは人間スイッチバックの場所のようで・・・



鬱蒼とした下り坂。湿っていて滑りやすいので足元注意。



この辺りは里山歩きの風情あり。



木古庭公園でトイレ休憩。



何だか雨が落ちてきたような・・・



右上は横浜横須賀道路。間隔を開けて一列縦隊で。



望遠で確認！確かに整然と・・・(狭いのでこうなった！)



やはり降り出した。結構な雨脚、雨具持参で良かった！



雨の中を歩き通してやっと横須賀しょうぶ園に到着。



足元を濡らしながら入り口の屋根下に入る。



26名だがLの押しの一手で団体料金適用に！



晴れたので集合写真を撮り、後は自由散策となった。紫藤は少ないが白藤が見頃で何とか写真が撮れた。



もうアフター？「お茶を飲んでいるだけだ〜」



こちらでは何やら勉強中？ それとも本日のおさらい中？



しょうぶ園を出た所にあるハス池。



何かいると思ったらアオサギが佇んでいた。



本日のメインイベントのしょうぶ園を後にする。



川沿いの道。まるで緑の海を泳いでいるような画。



橋の下に露呈しているこの岩塊は？



三浦枕状溶岩。4500万年前のもの。



ミラーに映った皆さんがモヤっと・・・嫌な予感！ この後、猛烈な雷雨となりずぶ濡れで衣笠駅に到着。お疲れ様でした。



<今日の一言>

ウォーキングの元祖とも言えるべき人物を見つけました！ その名は「玄奘^{げんじょう}三蔵法師」、誰もが知っているあの「西遊記」に出てくる人ですね。この人は実在した人物ですが、三蔵法師とは一人の人物の名ではなく、インドから中国に仏教を広めた人たちの総称で、その中でも良く知られているのがこの玄奘でした。彼は中国から2年の歳月を要してヒマラヤ山脈を迂回し、経を持ち帰りましたが、この世界の屋根と言われるヒマラヤを廻る苦しく辛い旅が「西遊記」を生んだわけですね。無論お供の孫悟空たち3人(?)は架空の話ですが・・・外出を控え、また本でも読もうと積んであった中から偶々見つけた話でした。

我々も玄奘の真似はできないものの、せめて15kmくらいは楽に歩けるように常に鍛えておかねばと思った次第です。

END